

# 中小企業あきた

- 1 ポイントカードに現金をチャージして使う  
電子マネーの利用が可能に! ~ハミングカード協同組合~ ..... 1
- 2 味噌・醤油に関する積極的なPRの取り組み  
~秋田県味噌醤油工業協同組合~ ..... 2
- 3 県工業功労者表彰を受賞  
~一般社団法人秋田県機械金属工業会・藤澤会長~ ..... 3
- 4 本県出身の菅首相誕生を祝う ..... 3

○景況レポート 8 月分 ..... 4

- 話題の広場  
中央会事業より ..... 6
- アラカルト ..... 7
- インフォメーション ..... 9

10  
OCTOBER.2020



## TOPICS 1 ポイントカードに現金をチャージして使う 電子マネーの利用が可能に! ~ハミングカード協同組合~

鹿角市のハミングカード協同組合(星川由則理事長、組合員89名)では、ポイントカードに電子マネーを導入し、現金をチャージ(入金)してキャッシュレスでお買い物ができるようになりました。

当組合は、2014(平成26)年3月に現在のポイントカードシステムの運用を開始した際、電子マネーの機能に対応できるよう、ICチップを導入したカードにリニューアルしていました。

その後、電子マネー利用に向けて、財務局への許可申請や、各加盟店の理解と合意を得るための説明を進めていましたが、思うように進展しておりませんでした。

その状況の中でも組合執行部は導入に向け研究を続けていたところ、財務局の許可を必要としない方法があることがわかり、その方法を採用することを、時間をかけて周知を図った結果、加盟店の理解も得られたことから、この度、サービスの開始にこぎ着けました。

この電子マネーは、「キララハミングペイ」と命名し、組合のポイントカード「キララハミングカード」に現金をチャージして使用します。

チャージができるのは現在のところ約40店舗で、5月の開始から2ヶ月間は、国のキャッシュレス・消費者還元事業の決済事業者として、チャージして買い物に使えば、ポイントが6倍になるキャンペーンを行いました。

組合から見たこのカードの利点は、顧客管理ができることです。顧客を選別することでより良いアプローチができ、データベースに基づいたマーケティングも可能になります。

組合によると、協同組合が独自の電子マネーを導入するのは、全国的にも非常に珍しいケースであるということです。

チャージした電子マネーの有効期間は半年間となっており、組合では今後、適宜セールやキャンペーンを行い、チャージしても、使っても買い物ポイントが付くようにして、加盟店の販売促進に活用してしていく方針です。



[使い方]



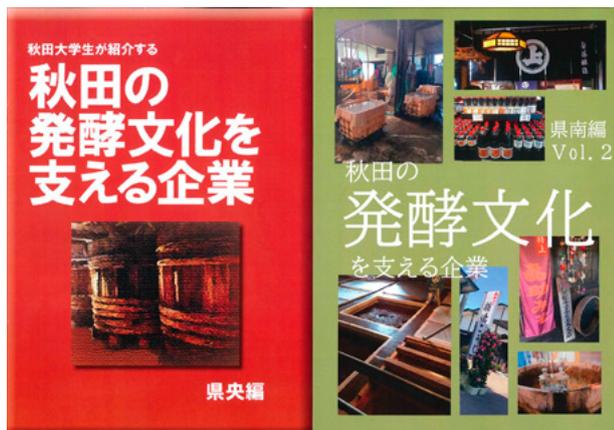
[ハミングカードのチラシ]

## 積極的なPRの取り組み ～秋田県味噌醤油工業協同組合～

秋田県味噌醤油工業協同組合(安藤大輔理事長、組合員36名)では、青年部(会員14名)が中心となり、味噌・醤油の需要拡大に向けてイベント等への積極的な参加を通して、県産味噌・醤油の新たな活用方法を提案する等、普及拡大に取り組んでいます。

2011年から秋田拠点センターアルヴェで毎年開催されている発酵・醸造文化の祭典である「秋田醸しまつり」もその一つであり、共催団体として参加しています。

また、秋田大学と連携し、大学生による県産味噌を使った料理のレシピを考案してもらい、文化祭で出店し、アンケートを実施したり、発酵文化について学術的に研究を行ったりする等、味噌に親んでもらうための取り組みを実施しています。また、小学校等に出向いて、醤油に関する授業を行う「しょうゆ物知り博士の出前授業」も年間を通して実施しています。



〔秋田大学の学生が制作したパンフレット〕

様々な取り組みの中でも最近、最も力を入れているのが、組合で考案した「きりたんぼみそ鍋」の普及拡大です。

一般的に知られているきりたんぼ鍋は、比内地鶏でダシをとった醤油ベースのスープが基本ですが、組合がPRしている「きりたんぼみそ鍋」は、秋田みそをベースに県産の豚肉、野菜、きのこ等を使用する新しい食べ方です。

組合では、JA全農あきたや県、総合食品研究センターとともに「きりたんぼみそ鍋協議会」を組織し、県内のメディアに向けて、記者会見や試食会を実施しており、2018年に行われた試食会では、基本レシピの他、県内の料理研究家4名が考案した5種類のきりたんぼみそ鍋を用意し、味付けや調理方法などについて意見交換を行いました。



〔きりたんぼみそ鍋PRの様子〕

また、11月30日を「きりたんぼみそ鍋の日」として、一般社団法人日本記念日協会に登録申請を行い、記念日として正式登録を受けるなど様々な方法で周知を図っていますが、組合では従来の醤油スープも推奨しており、味噌スープは食べ方の幅を広げる新しい提案であるとしています。

本来であれば、秋から冬にかけては、食に関するイベントが頻繁に開催される時期ですが、今年は新型コロナウイルスの影響でイベントが軒並み中止となっているため、ホームページをはじめとしたメディアでの発信を強化していく方針です。

同組合の京野専務理事は、「当組合の青年部は、とにかく皆仲が良く、活動的でチームワークも優れています。この青年部がPR事業の核となって活動する事により業界全体が活性化する事に大きな期待をしています。」と述べています。



〔記念日登録証ときりたんぼみそ鍋のパンフレット〕

8月25日(火)、県内の工業関係団体の育成強化等に貢献があった方を表彰する秋田県工業功労者表彰の表彰式が秋田県庁で行われ、一般社団法人秋田県機械金属工業会会長の藤澤正義氏が受賞しました。

受賞おめでとうございます。なお一層のご活躍をご祈念申し上げます。



[佐竹知事との記念撮影]

9月16日(水)、菅義偉氏が内閣総理大臣に就任したことを受け、県内各地で本県出身者初の首相誕生を祝うセレモニー等が行われました。

本会が入居する秋田市の県商工会館では、各入居団体の職員が大勢集まる中、同会館正面の壁面に「菅義偉内閣総理大臣ご就任おめでとうございます」と書かれた垂れ幕が設置され、万歳三唱が行われました。



[商工会館に設置された垂れ幕]

また、本会や秋田商工会議所等の7つの経済団体でつくる「菅義偉内閣総理大臣就任を祝う有志の会」による祝賀セレモニーがJR秋田駅ばらーどで開かれ、本会の藤澤会長の他、各団体の代表が出席し、来賓としてご参列頂いた佐竹敬久知事、穂積志秋田市市長と共に菅首相誕生を祝うくす玉割りが行われました。

菅首相の出身地・湯沢市では、中心部の駅通りや柳町などの4つの商店街に横断幕が掲げられ、提灯行列が行われるなど、街を挙げて、お祝いされました。



[祝賀セレモニーでくす玉を割る様子]



[横断幕が設置された湯沢市の駅通り]

この他、本会では、祝賀ポスターを作成し、会員組合に送付し、祝賀ムードを盛り上げました。

菅首相の今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。



[祝賀ポスター]

# 景況レポート

(8月分・情報連絡員60名)

## DI値は製造業が悪化、非製造業が上昇

### 【概況(全体)】

8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが5.0%(前回調査6.7%)、「悪化」が65.0%(同68.3%)で、業界全体のDI値は-60.0となり、前月調査との比較では1.6ポイント上回った。

本県の景況DI値は、全国に比べて上回ったが、東北・北海道ブロックに比べて下回っており、上向き幅も小さい結果となった。

### 【業界別の状況】

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、業種によって景況判断が分かれる結果となった。

各地の夏祭りが中止となったことに加え、お盆の帰省を自粛する動きが広がり、観光客や帰省客を相手としている業種にとってはかつてなく厳しい8月となった。

また、中旬以降の猛暑の影響が各業種に見られ、エアコン需要の高まりを受けた電気工事業を中心に景況感が回復し、わずかながら全体景況DI値を押し上げた。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-60.0	-65.2	-53.5
製造業	-75.0	-71.8	-59.2
非製造業	-50.0	-60.2	-50.2

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

#### 【凡例】



#### 【天気図の見方】

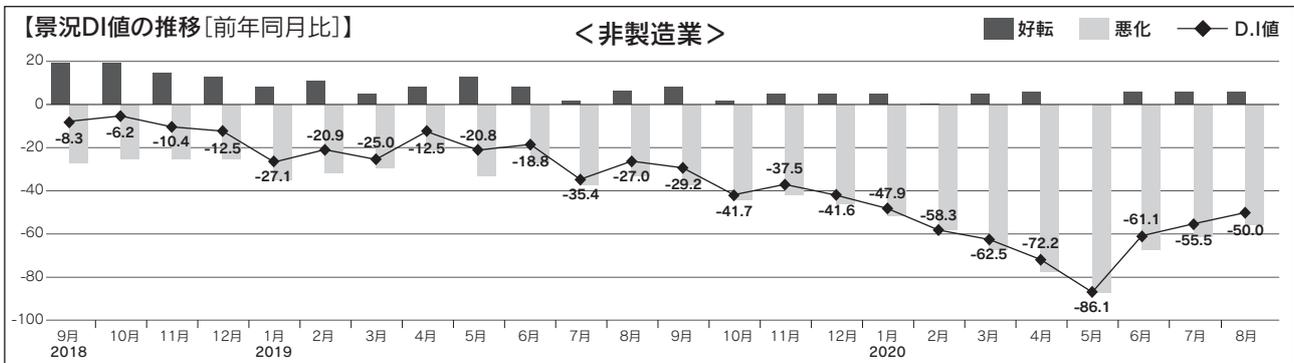
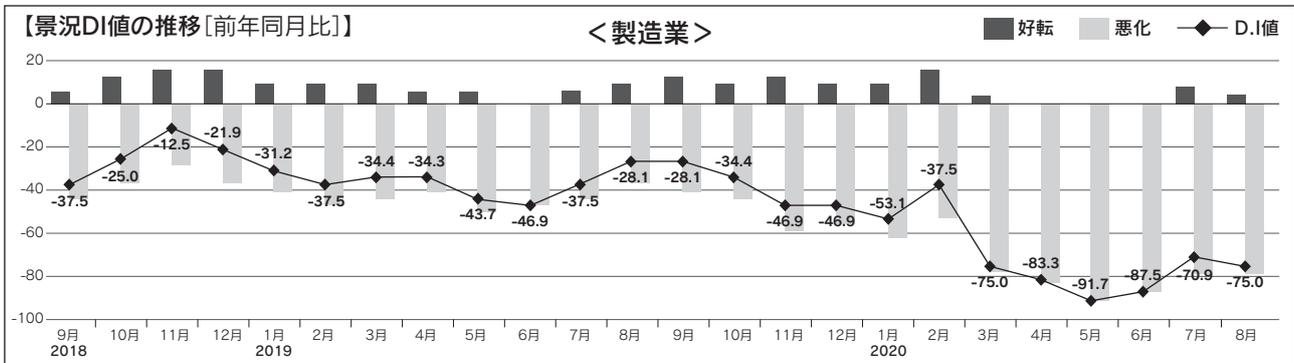
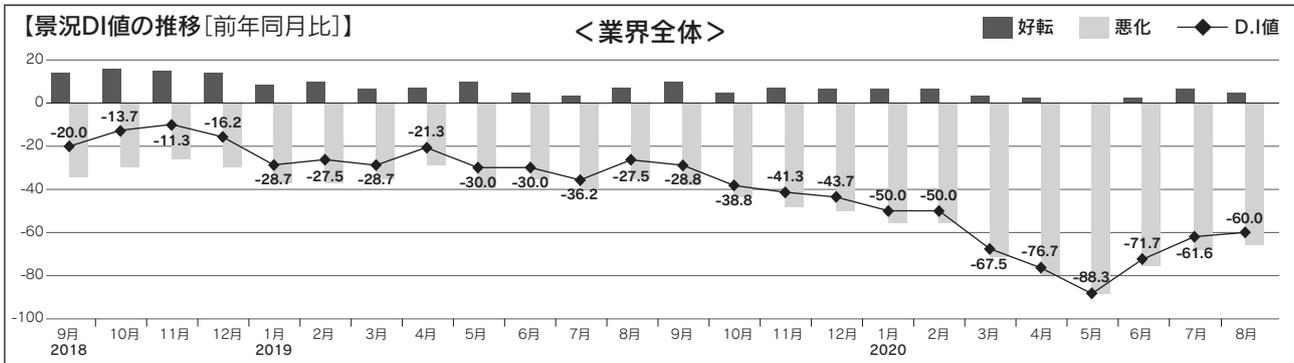
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ~製造業~

(回答数：24名 回答率：100%)

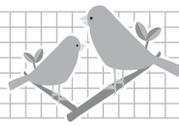
食料品 (パン)	新型コロナウイルス感染症の影響により、コンビニにおける菓子パン等の売上が減少しており、前年同月比でマイナスの状況が続いていることに加え、8月中旬以降の猛暑により、売上が急激に悪化している。学校給食は夏休みの短縮で登校日数が増えたため、プラスになっている。
食料品 (菓子)	8月はお盆や夏祭りシーズンで人の動きがある時期だが、新型コロナウイルス感染症の影響により、駅・空港・観光地に納品している企業を中心に引き続き売上の減少が続いている。
繊維工業 (繊維)	2020年秋冬物受注は60%となり、受注減少分は医療用ガウンで補っている。2021年春夏物受注の見通しは50%であり、来年3月以降は全く予測できない状況である。(中央地区)
木材・木製品 (外材)	例年は盆明けから価格上昇の機運が見られるものの、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不安から住宅建設を検討していた人が二の足を踏む傾向が強くなり、7月の全国住宅着工戸数が前年同月比で1割弱落ち込み、13カ月連続の減少で推移しており、木材需要の不透明感が続いている。こうした中、国産針葉樹合板は3月下旬に相次いで減産を表明し、荷動きも停滞感が続いている。8月は、13カ月連続で外材原木の入港はなかった。スギ原木については景況の悪化により製材用原木の値下がり傾向が続いていて、原木価格を下支えしてきた合板用原木についても、合板メーカーの減産が続いており、在庫量は減少しつつあるものの、引き続き厳しい展開が予想される。
窯業・土石製品 (生コンクリート)	8月の出荷数量は前年同月比112.8%である。4月～8月累計では99.0%となっている。要因として、中央地区の市立病院建設工事等、徐々に数量が出てきている。県南地区は、稲刈り後に農政関連工事が発注される見通しである。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続いており、新規見積物件も少なく、各社とも稼働率が大分下がっている状況が続いている。例年であれば、年末にかけての工事売上が期待されるのだが、今年は先行きが全く予想できず、今まで以上に厳しい経営が続くことが懸念される。
一般機器 (金属加工)	依然として受注が戻っておらず、組合員の中で一時帰休、退職者を募るところまできており、厳しい状況にある。資金繰りも厳しく、借入金が増加している。
その他の製造業 (漆器)	お盆の帰省シーズンに毎年開催している蔵出し市が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、集客も例年より60%程度減少した。売上については20%の減少にとどまった。湯沢市観光物産協会による宿泊者への市特産品プレゼント企画で、川連漆器を提供することとなり、この先6ヶ月間の売上につながった。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：36名 回答率：100%)

卸売業 (青果)	売上高は前年同月比105.1%で推移した。8月は前月までの天候不順から一転して、主力産地の東北地方は高温・少雨状況となり、青果物全般に出荷量が減少し、価格の高騰を招いた。その影響から結果的に売上高は前年を上回ったものの、利益幅は薄く、売上に利益が追いつかない状況となった。お盆需要も期待したほどではなかった。
小売業 (みやげ品)	本来8月は、夏祭り、竿燈、大曲の花火、西馬音内盆踊り、お盆の帰省客等、1年で一番売上実績の高い月だが、今年はお祭り・イベント等が全くないため、前年同月比22%の実績であった。
小売業 (花卉)	新型コロナウイルス感染症の影響で帰省できなかった人が、実家にお花を贈るなど、花キューピット等の需要が例年より多くなったことで、葬儀関係などのマイナス面をカバーできた。だが、依然として葬儀・ブライダル関連は大きく落ち込んでいる。
商店街	食料品販売と身の回り品は前年同月並み、家電販売と酒類販売及び生花販売は前年同月比で減少している。(秋田市)  首都圏等との往来自粛や帰省の自粛等があったが、地元消費は少しずつ回復してきていると感じる。まちカフェのオープンや空き店舗への入居があり、他も家賃の引き下げでテナント誘引の努力をしており、新規出店意欲が若干みられる。(湯沢市)
サービス業 (旅行)	国内10.2%、海外0%となっている。国内は、県プレミアム宿泊券とGo Toトラベルの取り扱いである。Go Toトラベルは、個人での還付は複雑なので、簡素な旅行業者経由での申し込みをいかに浸透していくかが今後のカギである。
サービス業 (タクシー)	外出自粛ムードも和らぎ、回復への動きがあったが、8月に発生した企業の運動部による新型コロナウイルス感染症患者のクラスターが、秋田駅前周辺と繁華街での回復にブレーキをかけた。前年比50%近い落ち込みになっているものの、地域によっては日中の需要に大きな落ち込みがない。
建設業 (電気工事)	新型コロナウイルス感染症の影響で、特に新築物件は少なかった。盆明けから下旬の好天による蒸し暑さで、エアコンの受注工事はさらに多忙を極めている。(中央地区)
運輸業 (トラック)	お盆前に多少回復の兆しがあったものの、お盆休み明けには貨物量が減少し、売上、収益ともに減少傾向で、前年同月比で減少している。例年の荷動きではないが、春先に比べて順調に推移しているとみられる。燃料価格は値上がりし、今後も値上げ見込みとなっている。(県南地区)



## 中央会事業より

### 組合活力向上事業 研修会 ～秋田杉桶樽協同組合～

9月2日(水)、8日(火)の2回にわたり、秋田杉桶樽協同組合(清水康孝理事長、組合員5名)を対象に組合活力向上事業が開催され、延べ33名が出席しました。

第1回目の研修会は、能代市の秋田県立大学木材高度加工研究所を会場に、同研究所の足立幸司准教授より、秋田杉の特性を理解し、職人の目利きや技量に依存することなく材を有効活用し、仕入のムダを低減するための取り組みや、杉桶樽産業の現状について説明がなされました。

足立准教授からは、「私たちを取り巻く社会が変わっていく中で、今後は、時代の要求に応える創意工夫が必要であり、食品等の内容物の製造技術や衛生管理の進化へ対応しながら、杉桶樽産業の伝統を守っていく必要があります。」とアドバイスを頂きました。

第2回目は、「秋田スギ葉成分入りの除菌用エタノール」と「杉桶樽」とのコラボレーションによる新商品開発の可能性を模索するため、同エタノールの開発元である県総合食品研究センターを会場に、同センター醸造試験場長の進藤昌氏から開発の経緯等について説明がなされました。

研修会終了後には、秋田公立美術大学の今中隆介教授、前回講師を勤めて頂いた足立准

教授がアドバイザーとして、懇談が行われ、今中教授からは「杉桶樽は、大変良い素材であり新商品ができることを期待したい。」、足立准教授からは「最近木材が見直されてきており、生活に潤いと豊かさを与えるアイテムとして、新しい生活様式と伝統技術が結びつければ面白い。」とのアドバイスがありました。

今回の懇談では、具体的な新商品開発のアイデアまでには至りませんでした。出席者から、エタノール容器としては難しいが、有効活用の可能性はあるとの意見が出され、新商品を考えるきっかけとなりました。本会では、今後も県産木材を活用した高付加価値な商品開発に向け、各支援機関と連携し、支援を継続していくこととしています。



[第1回研修会の様子]

### 外国人技能実習制度適正化講習会を開催

9月8日(火)、秋田市のパーティーギャラリーイヤタカにおいて、外国人技能実習生共同受入事業を実施する監理団体や実習実施者を対象に、技能実習制度に基づく組合の適正運営を図ることを目的とした講習会を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講師と会場をオンラインで結ぶWebセミナー形式とし、コスモポリタンインターナショナルHRソリューションズの代表・特定社会保険労務士である永井知子氏を講師に、監理団体や受入企業における労務管理の留意点とWeb面接のポイントについて説明がなされました。

新型コロナウイルスの影響により、国内の受入企業においては、外国人技能実習生が出

入国できない、解雇や雇止め、休業手当未払い等が発生するなど技能実習の継続が困難になっているため、雇用の維持支援、生活支援、感染防止対策の3つの対応のポイントについてアドバイスがありました。



[講習会の様子]

感染防止対策では、日本人と文化が違うことから、通訳を介して細かく繰り返して伝えること、出入国に関しては、受入企業側の負担によるPCR検査の実施、ビジネスホテルに2週間隔離し、入国後、講習を実施するなどの対応が必要であるとのことでした。

また、Web面接については、情報が正確に伝わらないことが多いことから、現地の通訳に加えて日本側の通訳にも参加してもらうことなどについて学びました。

本会では、今後も外国人技能実習生受入のための情報収集・提供を随時行っていく方針です。

## 生産性を高めるための研修会を開催(青年部研究会事業 研修会)

～県北自動車整備協業組合青年部～

9月18日(金)、県北自動車整備協業組合青年部(柴田栄部長、部員9名)を対象に、第1回青年部研究会事業が同組合事務所で開催され、9名が出席しました。

自動車整備業界は、少子高齢化の中で、自動車整備士が不足しており、募集しても応募がない状況が続いていることに加え、従業員の高齢化が進んでいるため、経営を維持していくために、従業員1人当たりの作業台数を伸ばすなど業務効率化を通じて、生産性向上を目指す必要があります。

そこで、第1回事業では、業界の現状を把握した上で、小規模の自動車整備事業者でも取り組みやすい生産性向上の手法等について学ぶため、本事業を開催しました。

講師には、自動車ディーラーで整備士をしていた経験を持ち、自動車整備業界に精通している社会保険労務士の本田淳也氏を迎え、「自動車整備業界の現状と生産性向上策」をテーマに、座学と意見交換を行いました。

本田氏は、従業員に作業の効率化を意識づけるため、トヨタ式の「カイゼン」を取り入れて習慣化することや作業指示書に標準作業

時間を明確に記載し、その時間内に作業できない場合、何が原因でどう改善すべきかを社内で話し合うことが必要であることに加え、部署間の連携や月次経営会議の開催などで従業員同士のコミュニケーションを高めることにより、職場環境の改善にもつながると述べました。時折、各社の取組状況などについて、参加者同士の意見交換を交えるなど終始なごやかに研修会が進みました。

組合では、今回の内容を踏まえ、次回は働きやすい職場づくりのポイントについて研修を行い、労働生産性向上や職場環境の改善に向けて取り組んでいくこととしています。



[青年部研究会の様子]

## アラカルト ● a la carte ●

### ■自慢の腕を競い合う

～第24回中小企業団体ゴルフ大会～

9月16日(水)、秋田市の秋田カントリー倶楽部において、第24回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。

大会当日は天候にも恵まれ、秋晴れの下、会員組合の代表者ら52名が自慢の腕を競い合いました。

僅差での接戦となりましたが、ネット70.4のスコアでプレーした秋田観光開発株式会社の渡部実氏が優勝を飾り、多くの協賛商品が集まった表彰式では、順位と名前が読み上げられるたびに拍手が沸き起こり、大いに盛り上がりました。



[ティーショットの様子]



[優勝した渡部実氏(左)と藤澤会長]

## 大会結果

優勝	渡部 実氏 (秋田観光開発株式会社)
準優勝	土井 商一氏 (秋田物流ネットワーク協同組合)
第3位	村橋 弘人氏 (三井住友海上火災保険株式会社)
B G賞	土井 商一氏 76 (秋田物流ネットワーク協同組合)

## ■フラワーモニュメントを設置

8月27日(木)、JR秋田駅中央改札口前にフラワーモニュメントが設置されました。これは、新型コロナウイルスの影響で販売不振となった県産花卉の需要喚起を図ろうと、生産者や生花店団体でつくる「秋田花の国づくり推進協議会」が取り組んだもので、当日は、秋田県花卉小売商業協同組合青年部(牧野真美部長)の部員10人が作業しました。

飾り付けられたのは、色鮮やかな県産のNA MAHAGEダリアやリンドウ、トルコキキョウなどで、駅の乗降客や通行客の目を引いていました。

花卉小売業界では、葬儀の規模縮小や結婚式の取りやめなどで需要が減少し、花の供給が過剰となっており、同組合では旬の花に興味を持ってもらい、日常生活で花を飾りたいと思ってくれる人を少しでも増やしたいと、取り組みを続けていくこととしています。

## ～秋田県花卉小売商業協同組合～

モニュメントは今後、9月末に秋田空港、10月以降は、大館能代空港やJR大館駅、秋田犬の里及びJR角館駅で順次展示される予定となっています。



[秋田駅に設置されたフラワーモニュメント]

## ■リモートでの会議や研修について

本会では、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、Webカメラやヘッドホンなどの機器を導入し、リモートでの会議や研修に取り組んでいます。

先日行われた全国中小企業団体中央会主催の専門委員会では、本会を含む各都道府県中央会によるWeb会議が行われました。

本専門委員会は出席者も多いことから、話している人の顔が良く見えるよう、スクリーンとプロジェクターを設置した他、パソコンとは別にWebカメラとスピーカーマイクを設置するなどし、意見交換等トラブルもなく委員会を終了することができました。

本会内部の会議についても、以前は必要に応じて、大館・横手両支所の職員が秋田市の本部へ出張しておりましたが、現在は両支所とインターネットを介して、リモート会議を行っています。

## ～本会の取り組みから～

この他、全国団体等が実施する一部の研修についても、会議と同様にWeb上で行われるなど利用が拡大しています。

本会では今後、会員組合からの相談等をリモートで対応することも含めて、リモート対応での取り組みを推進する方針です。



[Web会議の様子]

## 秋田県最低賃金が改定されます

(秋田労働局)

秋田県の最低賃金は10月1日(木)から、2円引き上げられ、時間額「792円」となります。

最低賃金は、臨時、パート、アルバイト等、県内のすべての労働者に適用され、最低賃金額以上の賃金を支払わないと、最低賃金法違反となります。

賃金は、精皆勤手当、家族手当、通勤手当、時間外手当、賞与等を除いた額が最低賃金額以上でなければなりません。

月給や日給の場合は、時間額に換算したものが最低賃金額以上でなければなりません。

詳しくは右記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】  
秋田労働局賃金室  
☎018-883-4266

又は最寄りの  
労働基準監督署



## 10月は年次有給休暇取得促進期間です

(秋田労働局)

厚生労働省では、労働局、労働基準監督署を通じて、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)実現のため、年次有給休暇の取得促進を推進しています。

新型コロナウイルス感染症対策として、新しい生活様式が求められる中、計画的な業務運営に資する「年次有給休暇の計画的付与制度」や、労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に資する「時間単位の年次有給休暇制度」の導入が効果的です。ぜひ導入をご検討ください。

※時間単位の年休制度、年休の計画的付与制度の導入には就業規則への記載と労使協定の締結が必要です。

【お問い合わせ先】  
秋田労働局  
雇用環境・均等室  
☎018-862-6684

年次有給休暇の  
制度：最寄りの  
労働基準監督署



## 中小企業デジタル化応援隊事業を実施しています

(中小企業庁)

感染症への対策や働き方改革の必要性が高まる中、テレワークやEC等のデジタルツールに関心があっても、ノウハウがなく導入・定着に至らない中小企業が数多く存在しています。

そこで、中小企業庁と独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)では、フリーランスや兼業・副業人材等を含むIT専門家を「中小企業デジタル化応援隊」として選定し、全国の中小企業のデジタル化・IT活用に向けた取組みを支援します。

本事業では、支援を希望する中小企業や、IT専門家に登録していただき、登録された情報に基づき、事務局が両者のマッチング支援を行います。

なお、IT専門家には、支援開始前に、支援計画の作成と中小企業との準委任契約の締結を求める他、中小企業には経費の一部実費負担を求めます。支援実施後に、事務局からIT専門家に対して、契約に基づく支援実績の一部が謝金として最大3,500円/時間(税込)支払われます。

詳細については、当事業の特設ウェブサイトをご覧ください。

【お問い合わせ先】  
事務局コールセンター ☎050-2000-7227  
メール [ade.jp.digital@digitalization-support.jp](mailto:ade.jp.digital@digitalization-support.jp)  
受付時間 平日9時~17時

秋田県は、みなさまから寄付していただいたふるさと納税(クラウドファンディング型)を利用して、秋田県内で「地域資源活用」や「地域課題解決」に取り組む起業家を支援します。

応援したいプロジェクトに寄付していただくと、全額起業家に補助金として交付され、寄付された方へは起業家からお礼品が送られます。

※ふるさと納税(クラウドファンディング型)とは、ふるさと納税の使い道(事業)を明示したうえで、事業に共感する方からふるさと納税(寄付)を募ることです。

●寄付募集期限 12月15日(火)

●寄付の申込方法

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」から応援する起業家を選び、必要事項(寄付者情報、寄付額、お礼品の選択等)を入力し、お申し込みください。

●クラウドファンディング実施起業家

合同会社健和食品物産(大館市)

「比内地鶏」と「赤菊芋(北秋田市産)」を使ったペットフードの製造・販売をします。

・お礼品

合同会社健和食品物産が製造したペットフードや赤菊芋ペースト、きりたんぼセット、比内地鶏などの大館市の特産品をお送りします。

・目標額 200万円

買い物エール(秋田市)

高齢者や子育て中など買い物が負担な方へ買い物代行サービスを提供します。

・お礼品

買い物代行のサービス券や、海産物やお米など県内の特産品をお送りします。

・目標額 100万円

【お問い合わせ先】

秋田県 産業労働部 商業貿易課

☎018-860-2244

国の持続化給付金の申請手続きについて

(経済産業省)

持続化給付金について、9月より新事務局による申請受付を行っています。

9月1日以降の申請受付や審査等については、「9/1～申請受付分」持続化給付金事務局(新事務局)が担当し、8月31日までの申請受付や審査等については、「～8/31申請受付分等」持続化給付金事務局(旧事務局)が担当いたします。

※給付要件等持続化給付金の制度面に変更はありません。一度給付を受けた方は、再度給付申請をすることはできません。

このため、8月31日までに申請された方は、引き続き、「～8/31申請受付分等」持続化給付金事務局のホームページ外部リンク及び相談窓口をご利用いただき、9月1日(火)以降に新規申請される方は、「9/1～申請受付分」持続化給付金事務局のホームページ及び相談窓口をご利用ください。

相談窓口については、以下の問い合わせ先になります。お電話は大変混み合うことが予想されますので、経済産業省や事務局のHP、LINE等も併せてご活用ください。

ご自身で電子申請を行うことが困難な方のために、申請サポートを行っており、9月以降も「申請サポート会場」をご利用いただけます。開催場所や予約方法等の詳細は、経済産業省のホームページからご確認ください。

また、「申請サポート会場」が設置されていない地域には、期間限定で「申請サポートキャラバン隊」を開設します。

なお、申請者へのサポートの質の確保に万全を期すため、9月までは「～8/31申請受付分等」持続化給付金事務局にて一元的に実施し、その後、10月から「9/1～申請受付分」持続化給付金事務局による申請サポート会場・キャラバン隊の運営を開始する予定です。

持続化給付金ホームページ

<https://jizokuka-kyufu.go.jp/>

【お問い合わせ先】

持続化給付金事業コールセンター

☎0120-279-292

IP電話専用回線：03-6832-6631

※受付時間：8時30分～19時00分(土曜祝日を除く)

人事異動のお知らせ

【株式会社商工組合中央金庫秋田支店】

(9月15日付)

( )は前職

敬称略

《転入》

秋田支店長(主計部次長)

清水 剛

秋田支店業務課長(神戸支店調査役)

桑島 淳

《転出》

融資第一部上席審査役(秋田支店長) 高橋 大輔

大森支店業務課長(秋田支店業務課長) 奈良 克彦

官公需適格組合

『カデル』

## 秋田管工事業協同組合

理事長 本多 秀文  
副理事長 谷藤 健二  
" 太田 博之

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

「信用保証」と

「経営支援」で

秋田県の中小企業を応援します！



 秋田県信用保証協会

<https://www.cgc-akita.or.jp>

〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47

TEL: 018-863-9011 FAX: 018-863-9188



### 秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど  
あらゆるリクエストにお応えいたします。

 HOTEL METROPOLITAN AKITA JR-EAST

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1  
TEL.018-831-2222  
<http://www.metro-akita.jp/>

### 株式会社 八幡平貨物



秋田県鹿角市八幡平字谷内下毛平116-12  
TEL 0186-34-2011  
FAX 0186-34-2013

一般区域貨物自動車運送  
原木・木材の伐出及び仕入・販売

おかげさまで20周年を迎えることができました。  
今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



保険&リース

## 北日本ベストサポート

【本店営業部】

〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号

TEL:018-883-1888/FAX:018-883-1822

【県南営業部】

〒014-0047 秋田県大仙市大曲須和町1丁目4番地57号

TEL:0187-66-3622/FAX:0187-88-8133

【能代東支店】

〒016-0122 秋田県能代市扇田字東扇田165-2

TEL:0185-58-2116/FAX:0185-58-2663

【酒田支店】

〒999-8438 山形県飽海郡遊佐町比子字白木23-362

TEL:0234-75-3370/FAX:0234-75-3376

【URL】 <http://www.knbs.jp>

『スキルアップ』

# 千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666

URL：http://www.k-chiyoda.jp

For Earth, For Life  
Kubota

Hello, my Smile

陽菜 Smile  
SUNNY



詳しい製品情報はこちらのQRコードから！

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38  
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-8600

秋田県中小企業団体中央会団体扱  
「オーナーズプラン」のご案内

BESTパートナー  
大樹生命

# Owner's Plan



- 事業保全資金
- 事業承継・相続
- 就業不能
- 役員の退職慰労金・弔慰金
- 従業員の退職金・弔慰金

限りない繁栄のために…

リスクマネジメントは万全ですか？

※一部対象とならない商品・契約がございますので、  
詳細は下記までお問い合わせください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 秋田支社

〒010-0001 秋田県秋田市中通 2-3-8

秋田アトリオンビル10F

TEL:018-801-1645

https://www.taiju-life.co.jp/

秋田営業部 TEL:018-801-1626

本荘支所 TEL:0184-23-2950

能代支所 TEL:0185-52-5351

大館営業部 TEL:0186-49-2459

大曲営業部 TEL:0187-62-1337

湯沢支所 TEL:0183-72-3230

B-2020-5002 (2020.4)  
使用期限 2021.3.31

2020  
10  
Oct

中小企業あきた

令和2年10月1日発行 (毎月1日発行) 第725号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円